

これまでの取組みと静岡県地域医療再生計画(H24補正予算)の概要

(1) 医療人材の確保・資質向上

<医師>

- ①医学修学研修資金貸与事業の実施(継続:10人分)
- ②地域医療に対応できる幅広い診療能力を有する医師の養成
- ③女性医師が安心して継続勤務できるサポート体制の整備<看護職員等>
- ①看護職員等就労環境整備
 - ・夜勤環境整備(仮眠室等):68箇所
 - ・共同利用型院内保育所整備:1箇所
- ②訪問看護師の資質向上(専門分野研修)
- ③助産師の資質向上(産科医との合同研修)

これまでの地域医療再生計画における主な取組み

- 地域医療再生計画(H21補正予算)
 - ・全国に先駆け、「ふじのくに地域医療支援センター」を設置
 - 県内の医師確保を一元的かつ専門的に実施
 - ・「専門医研修ネットワークプログラム」の立ち上げ
 - 54プログラム、参加研修医数58人(H26.1現在)
 - ・医学修学研修資金の貸与(大学特別枠)
 - 本県独自実施分と合わせ、H24までに454人に貸与
 - ・家庭医養成プログラム(中東遠医療圏)
 - 指導医・研修医 16人(実数)

(2) 在宅医療の推進

- ①介護と連携した在宅医療の拠点整備
(二次医療圏ごとに包括的かつ継続的な在宅医療連携体制を構築:14箇所)
- ②関係者の情報共有のための在宅医療連携ネットワークシステムの機能追加・運用拡大
(退院支援機能の追加、システムの全県展開)
- ③在宅医療を担う医療人材の養成・資質向上及び県民への啓発
(研修会・交流会の開催、医療情報の提供等)
- ④在宅医療を必要とする小児等の地域における連携拠点の整備
(NICU退院後の小児等の在宅療養を支援:1~2箇所)

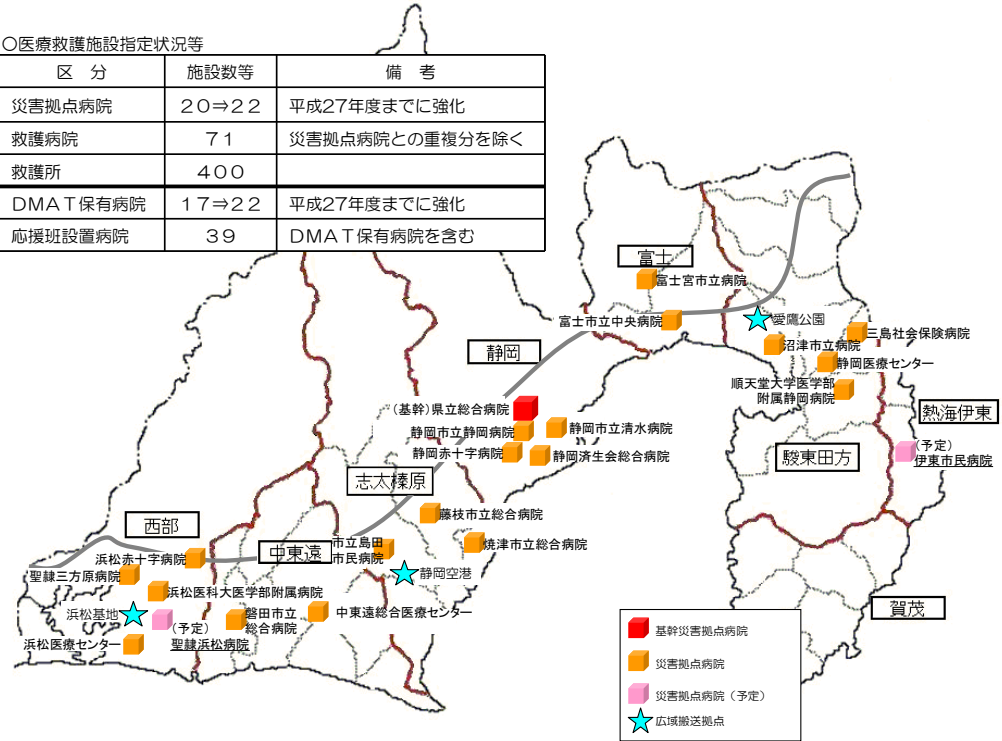
(3) 災害医療体制の充実・強化

新規

- ①地域の災害医療ネットワーク構築、医療資源コーディネート機能強化
- ②災害医療関係機関の衛星電話整備による情報通信体制確保
- ③災害拠点病院、救護病院の応急用医療資器材等整備による診療機能の充実・強化

○医療救護施設指定状況等

| 区分 | 施設数等 | 備考 |
|----------|-------|----------------|
| 災害拠点病院 | 20⇒22 | 平成27年度までに強化 |
| 救護病院 | 71 | 災害拠点病院との重複分を除く |
| 救護所 | 400 | |
| DMAT保有病院 | 17⇒22 | 平成27年度までに強化 |
| 応援班設置病院 | 39 | DMAT保有病院を含む |



これまでの地域医療再生計画における主な取組み

- 地域医療再生計画(H22補正予算)
 - ・「静岡県在宅医療推進センター」の設置
 - 在宅医療の現状、課題等の調査・分析
 - ・在宅医療に必要な患者情報を共有するためのシステム
(在宅医療連携ネットワークシステム)の構築及び運用
 - ・県民向け啓発活動(シンポジウム等の開催)

静岡県における課題を解決する方策（1）

1 課題を解決する方策（主な取組み）

(1) 医療人材の確保・資質向上（総額5.2億円）

<医師>

① 課題：医科大学の定員増等に対応した医学生に対する医学修学研修資金貸与の継続による医師の確保

目標：県内医科大学在学者の卒業後の県内定着による医師の確保

対策：医学修学研修資金貸与（平成22年度定員増加枠分10人）の継続（2.7億円）

② 課題：平成37（2025）年以降の超高齢社会に対応できる、地域医療に従事する医師の確保

目標：幅広い領域の診療能力を有する医師の養成

対策：幅広い領域の診療能力を有し、地域医療に貢献できる医師の養成（1.1億円）

③ 課題：今後増加する女性医師の結婚、出産、育児等のライフイベントを通じた就業の継続

目標：女性医師の離職の防止及び再就業の促進

対策：女性医師の負担を軽減し、就業の継続を可能にするためのサポート体制の整備（0.4億円）

静岡県における課題を解決する方策（2）

(2) 在宅医療の推進(総額2.7億円)

① 課題：在宅医療を推進するための拠点及び介護と連携した多職種間のネットワークの整備

目標：地域における介護と連携した在宅医療提供体制の整備

対策：二次医療圏ごとの、地域における介護と連携した多職種による在宅医療の拠点及びネットワークの整備(1.5億円)

② 課題：入院中の患者が在宅医療に移行するための関係者による情報共有、連絡調整が不十分

目標：これまでの地域医療再生計画で整備した在宅医療連携ネットワークシステムの機能追加、運用拡大による

入院患者の円滑な在宅移行及び在宅医療連携体制の推進

対策：在宅医療連携ネットワークシステムへの退院支援機能の追加及び県内全域への運用の拡大(0.7億円) ほか

(3) 災害医療体制の充実・強化(総額4.1億円)

① 課題：東日本大震災において効果を発揮した、地域における自立した災害時の医療資源需給調整機能の強化

目標：地域における災害医療ネットワークの構築と、調整能力の高い災害医療・薬事コーディネーターの養成

対策：地域災害医療対策会議の設置による平時の関係構築と実践的なコーディネーター養成研修の開催(0.2億円)

② 課題：通常の通信手段の途絶に伴い、被害情報や支援要請情報の正確かつ迅速